【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【公表番号】特表2005-515769(P2005-515769A)
【公表日】平成17年6月2日(2005.6.2)
【年通号数】公開・登録公報2005-021
【出願番号】特願2003-563324(P2003-563324)
【国際特許分類】
Ａ２３Ｌ　1/275　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２３Ｌ　1/275

【誤訳訂正書】
【提出日】平成21年9月17日(2009.9.17)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
食品または薬品を着色するための、薄片状基材に基づく多層顔料の使用方法であって、前記食品または前記薬品中の前記多層顔料の割合が０．００２５～７５重量％であり、前記多層顔料が、一方が他方よりも屈折率の高い２つの被覆層からなる２層構造を有し、
前記多層顔料が、以下の（１）及び（２）：
（１）Ｅ１０１、Ｅ１０４、Ｅ１１０、Ｅ１２４、Ｅ１３１、Ｅ１３２、Ｅ１４０、Ｅ１４１、Ｅ１５１、Ｅ１６０ａ、Ｅ１７１、Ｅ１７２およびＥ１５３から選択された染料または顔料、
（２）芳香性物質
の少なくとも一方と混合されて用いられることを特徴とする食品または薬品を着色するための多層顔料の使用方法。
【請求項２】
前記薄片状基材が雲母、タルク、カオリン、アルミニウム、Al_2O_3、Fe_2O_3、TiO_2、ガラスまたはSiO_2薄片である請求項１に記載の多層顔料の使用方法。
【請求項３】
前記多層顔料が、少なくとも１つの層配列（Ａ）（Ｂ）：
（但し、（Ａ）は二酸化チタンおよび／または酸化鉄からなる高屈折率層であり、（Ｂ）は屈折率ｎが１．８以下である無色の低屈折率層である）
を含む請求項１または２に記載の多層顔料の使用方法。
【請求項４】
前記多層顔料が、層配列（Ａ）（Ｂ）（Ａ）
（但し、（Ａ）は二酸化チタンおよび／または酸化鉄からなる高屈折率層であり、（Ｂ）は屈折率ｎが１．８以下である無色の低屈折率層である）
からなる請求項３に記載の多層顔料の使用方法。
【請求項５】
前記屈折率が高い方の層が、TiO_2、Fe_2O_3およびFe_3O_4の少なくとも１種を含む請求項１～４のいずれかに記載の多層顔料の使用方法。
【請求項６】

前記屈折率が低い方の層が、SiO_2、Al_2O_3、AlO（OH）、B_2O_3、MgF_2、$MgSiO_3$または前記金属酸化物の混合物からなる請求項１～５のいずれかに記載の多層顔料の使用方法。

【請求項７】

前記多層顔料が以下の層構造を有する請求項３または４に記載の多層顔料の使用方法。

薄片状基材＋TiO_2＋SiO_2＋TiO_2

薄片状基材＋TiO_2＋SiO_2＋Fe_2O_3

薄片状基材＋TiO_2＋SiO_2＋Fe_3O_4

薄片状基材＋TiO_2＋Al_2O_3＋TiO_2

薄片状基材＋TiO_2＋Al_2O_3＋Fe_2O_3

薄片状基材＋TiO_2＋Al_2O_3＋Fe_3O_4

薄片状基材＋Fe_2O_3＋SiO_2＋TiO_2

薄片状基材＋Fe_3O_4＋SiO_2＋TiO_2

薄片状基材＋Fe_2O_3＋Al_2O_3＋TiO_2

薄片状基材＋Fe_3O_4＋Al_2O_3＋TiO_2

【請求項８】

前記食品または前記薬品中の前記多層顔料の割合が０．００５～１５重量％である請求項１～７のいずれかに記載の多層顔料の使用方法。

【請求項９】

前記多層顔料が、一または二以上の真珠光沢顔料、被覆または非被覆TiO_2薄片、SiO_2薄片、天然または天然様染料、着色顔料または天然着色性植物もしくは果実抽出物と組み合わせて用いられる請求項１～８のいずれかに記載の多層顔料の使用方法。

【請求項１０】

前記食品または前記薬品が被覆層またはアイシングを有し、

前記被覆層が、セルロース誘導体、シェラック、油、ワックス、アラビアゴム、セルロース製品、ポリメタクリレート、カラギーナン、澱粉、卵白、澱粉または卵白誘導体、脂肪または脂肪誘導体から選択された材料からなり、

前記被覆層または前記アイシングの着色のための請求項１～９のいずれかに記載の多層顔料の使用方法。

【請求項１１】

前記薬品がビタミン製剤である請求項１～９のいずれかに記載の多層顔料の使用方法。

【請求項１２】

前記食品または前記薬品が、活性成分を含む錠剤である請求項１～９のいずれかに記載の多層顔料の使用方法。

【請求項１３】

前記多層顔料が、更に、金顔料、銀顔料または干渉顔料からなる真珠光沢顔料とともに用いられる請求項１～９のいずれかに記載の多層顔料の使用方法。

【請求項１４】

菓子、ケーキ装飾、偏平製品、被覆錠剤、チューインガム、ガム製品、フォンダン製品、マジパン製品、充填組成物、ココアのてり、脂肪のてり、チョコレート、チョコレート含有製品、アイスクリーム、シリアル、スナック製品、被覆組成物、ケーキ用てり、砂糖入りクリーム球、ノンパレイユ、ゼリー、ゼラチン製品、ボンボン、甘草、アイシング、キャンディーフロス、脂肪組成物、糖組成物、クリーム組成物、ブラマンジェ、デザート、フラン上薬、冷果スープ、粉末状食品、飲料、酸性化乳製品、非酸性化乳製品、チーズ外皮及びソーセージ外被から選択される食品への組み込みまたは塗布による着色のための請求項１～９のいずれかに記載の多層顔料の使用方法。

【請求項１５】

錠剤、硬質カプセル、軟質カプセル、被覆錠剤、軟膏または咳き止め混合物としての医薬品への塗布による着色のための請求項１～９のいずれかに記載の多層顔料の使用方法。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２３】
基材＋TiO_2＋SiO_2＋TiO_2
基材＋TiO_2＋SiO_2＋Fe_2O_3
基材＋TiO_2＋SiO_2＋Fe_3O_4
基材＋TiO_2＋Al_2O_3＋TiO_2
基材＋TiO_2＋Al_2O_3＋Fe_2O_3
基材＋TiO_2＋Al_2O_3＋Fe_3O_4
基材＋Fe_2O_3＋SiO_2＋TiO_2
基材＋Fe_3O_4＋SiO_2＋TiO_2
基材＋Fe_2O_3＋Al_2O_3＋TiO_2
基材＋Fe_3O_4＋Al_2O_3＋TiO_2
特に、前記多層顔料は、雲母薄片、さらにはガラス、SiO_2またはAl_2O_3薄片に基づく。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２８】
顔料のそれぞれの色効果は、多層顔料と他の真珠光沢顔料、例えば、金顔料、銀顔料または干渉顔料との組み合わせにより増強される。この相乗効果は、他の天然または天然様染料をさらに用いる必要無く、着色すべき製品の可能な色の範囲をかなり広げる。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３５】
着色に適した列挙し得るさらなる製品は、特に、全てのタイプの食品上の被覆、特に、顔料で着色した糖およびシェラック被覆（アルコール性および水性）、油、脂肪、澱粉およびワックス、アラビアゴム、セルロース誘導体（例えば、ＨＰＭＣ＝ヒドロキシプロピルメチルセルロース）、澱粉、卵白、澱粉誘導体および卵白誘導体体、カラギーナンおよび当業者に知られている他の物質での被覆であり、菓子、ケーキ装飾、偏平製品、被覆錠剤、チューインガム、ガム製品、フォンダン製品、マジパン製品、充填組成物、ココアおよび脂肪のてり、チョコレートおよびチョコレート含有製品、アイスクリーム、シリアル、スナック製品、被覆組成物、ケーキ用てり、砂糖入りクリーム球、ノンパレイユ、ゼリーおよびゼラチン製品、ボンボン、甘草、アイシング、キャンディーフロス、脂肪、糖およびクリーム組成物、ブラマンジェ、デザート、フラン上薬、冷果スープ、粉末状食品、飲料、これらは、例えば、カルボキシメチルセルロースのような安定化剤が加えられまたは加えられておらず、酸性化および非酸性化乳製品、例えば、乳餅、ヨーグルト、チーズ、チーズ外皮、ソーセージ外被などの被覆、組み込みまたは塗布に適している。